

「不易」は守られているか

吾妻教育事務所長 小林 克典

昔、ある小学校に初任者として勤務していた時のことです。新しく音楽の先生が赴任してきました。2か月もたたないうちに、子供たちの歌声や鼓笛演奏がガラッと変わりました。音楽に取り組む表情も劇的に変わりました。担任として、その謎が知りたくて音楽の授業を参観させてもらいました。その先生はにこにこしながら「いいねえ」「すごいねえ」を連発しているだけでした。謎は解けませんでした。

その後、指導主事としてその先生の授業を参観させていただく機会を得ました。そこで気付いたのは、その先生は子供たちの力を信じている、どこまでも伸びる可能性を信じている、ということです。ある場面では寄り添い教え、ある場面では信じて任せる。一人一人が生き生きと主体的に学んでいました。教師は子供の力に勝手に上限を設けることなく、子供は自ら目標を設定し、試行錯誤しながら学んでいく。まさに、いま求められている自律した学習者がそこにはいました。その大前提となっていたのは、その先生の、子供の力を信じる姿勢、情熱でした。

群馬県教育ビジョンでは、エージェンシーという新しい言葉が示されました。教育を語る際に、よく不易と流行という言葉が使われます。不易とは、いつの時代でも変わらずに本質的に大切なものということです。流行(新しい言葉)から目を背けてしまって、とすると、「今までと同じでいい」と勝手に変換してはいないでしょうか。エージェンシーは、言葉自体は「流行」ですが、その中身はまさに「不易」です。「今までと同じ」で「不易」は守られるのか、今こそ考えるべきだと感じています。

本質的に大切な「不易」が、学校で、教室で、子供たちに実現できているかどうか、予測困難な変化を続ける「流行」をしっかりと見据えつつ、浮足立つことなく、目の前の子供を信じ、向き合っていきたいと考えています。

【学校教育係】 令和6年度 学校・園経営の重点から

【学校・園づくり】

□組織全体での取組の推進

目指す子供の具体的な姿を全職員で共通理解

全職員で共通理解

- ・学校教育目標
- ・目指す幼児像・児童像・生徒像

役割分担と確実な指導・支援

適切な役割分担

- ・管理職・担任・生徒指導
- ・養護教諭・SC・相談員
- ・関係機関等

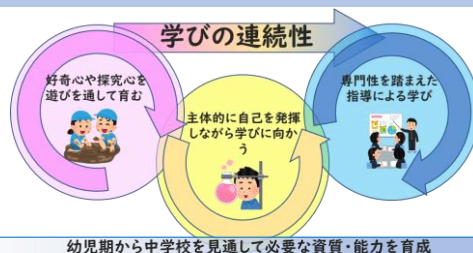
目指す子供の姿



組織的なチーム支援

☆目指す子供の具体的な姿を全職員で共通理解し、役割を分担して確実な指導や支援を行いきましょう。

□学びの連続性を意識した取組の推進



幼児期から中学校を見通して必要な資質・能力を育成

☆幼児期から中学校までの子供の発達を長期的な視点で捉え、それぞれの段階で目指す資質・能力や学んでいる内容を共有しましょう。

□個の可能性を最大限に引き出す取組の推進

信頼関係

認め寄り添い 得意を生かす



多様な価値観を踏まえた適切な支援

☆子供の得意な面を生かしたり、多様な価値観を踏まえた適切な支援を行ったりすることで、一人一人がもつ力を最大限に引き出し、すべての子供たちが活躍する取組を推進しましょう。

【確かな学力の育成】

□子供が学ぶ意欲をもち続けられる単元(題材)づくり

「解決してみたい」「できるようになりたい」と子供が感じ、主体性を生み出す課題づくり

子供の疑問や問題意識を促す意図的な導入

課題を「子供と教師」が一緒に設定

自分事としてエージェンシーを発揮し、試行錯誤しながら主体的に課題を追究!!

課題解決までの見通しをもつことが出来る指導と評価の計画

「どんなことが分ければ、この課題を解決できそうかな?」

指導計画や評価を一人一人の学習状況に応じて、柔軟に見直すことが大切

「エージェンシー」とは? 人が誰も生まれついて持っている自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力

教師の意識と指導を変える

☆課題を、教師と子供が一緒に考えて設定し、自分事化させることで、子供主体の授業を構築しましょう。子どもの力を信じ、これまでの学びの概念を転換していきましょう。

□子供主体の授業実践

子供が解決したいと思う方法で学習に取り組める環境づくり

授業

子供に任せる時間

教師が引き受ける時間

ゴールの共有

環境づくりの例

- ・個人で追究
- ・タブレットで情報収集
- ・教師と協働
- ・グループで協働 等

子供が目的に応じて交流し自らの学びを広げ深める伴走支援



【教師の役割】

- 学習状況の把握
- ほめる
- 認める
- 引き出す
- つなぐ
- ともに学ぶ

☆ねらいに応じて、必要なときに意見交流や情報収集ができるような環境をつくりましょう。教師の役割として「働きかける」「引き出す」「つなぐ」「ともに学ぶ」ことを大切にしましょう。

【豊かな人間性の育成】

□子供が「大切にされている」と実感できる自己存在感の育成

自己存在感を育むために

☆一人一人の児童生徒をかけがえのない存在と捉え、個性や独自性を大切にしましょう。



結果だけでなく、挑戦する姿を称賛し、取組の過程を重視する

□子供の共感的な人間関係を育成

共感的な人間関係の育成のために

☆自他の個性を尊重し、相手の立場に立って行動できる相互扶助的な関係を育成しましょう。



お互いの価値観を認め合い、失敗や間違いを次に生かす

生徒指導提要における
自己指導能力の獲得を支える4つの視点

□子供の自己決定の場の提供

自己決定の場の提供のために

☆児童生徒の学びを促進するファシリテーターとしての役割を果たしましょう。



考える時間や振り返る時間を確保し、意見を述べたり選択したりできる環境づくり

□子供の安全・安心な居場所づくり

安全・安心な居場所づくりのために

☆個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるように支援しましょう。



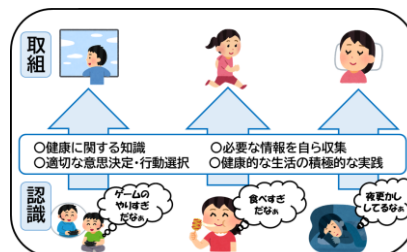
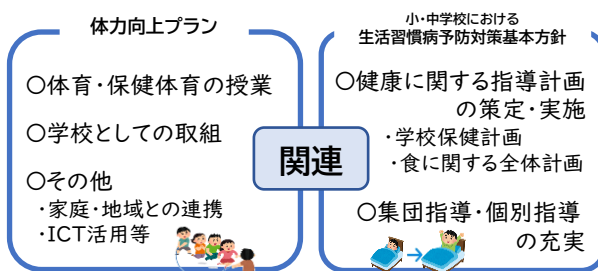
悪口、いじめ、暴力を許さず、個性を尊重するよさを実感する取組

「健やかな体の育成」

□子供が生涯にわたって健康を保持増進できる基礎の育成

「体力向上プラン」「生活習慣病予防対策基本方針」を活用した自校の健康課題改善の取組

子供が自分の健康課題を認識し、課題解決していく取組の指導・支援



☆それぞれの**自校の健康課題と目指す子供の姿**を全職員で共通理解し、学校教育活動全体の取組として、充実させましょう。

健康的な生活習慣形成のための家庭との連携

☆適切な情報発信で理解や協力を得たり、家庭からの意見を自校の教育活動に生かしましょう。

「幼児教育の充実」

□人・物・事に興味や関心をもち、主体的に遊び、発達に必要な経験を積む環境構成と援助

□幼児教育と小学校教育の円滑な接続 子供の発達と学びの姿の共有



行動の楽しさを実感

達成感・満足感を自信に

伝えてよかった
聞くて楽しい

「自分たちでやった」
「自分でできた」



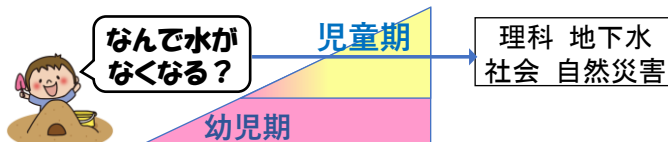
☆幼児が気づく前に教える先回りした援助を減らし、幼児に信じて任せ、「自分たちでやった・できた」充実感が味わえる援助をしましょう。

幼児期
小学校以降を「見据えた」教育

架け橋

児童期
幼児期に育まれた力
踏まえて更に伸ばす

10の姿を基にした共通理解



☆幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を基にした一人一人の育ちの姿を園と学校で共有しましょう。※見据えた教育 ≠ 学校を先取りする教育

「特別支援教育の充実」

□自立活動の指導の充実

個別の指導計画の活用と
子供の実態に基づく指導の循環

自立活動での学習を生かせる
環境づくりや合理的配慮



【自立活動】



【教育活動全体】



メモをとりながら聞くことを取り入れてみました。

連携

メモの効果を確認しますね。

☆個別の指導計画を活用することを、組織として共通理解し、「計画・実践・評価・改善」の一連の指導が生かされるよう**組織全体**で指導に関わりましょう。

☆全職員の合理的配慮の理解や担当教員間の連携により自立活動での指導が実際の生活の中で生かせる環境を整えましょう。

【生涯学習係】地域学校協働活動 コミュニティ・スクールの一体的推進

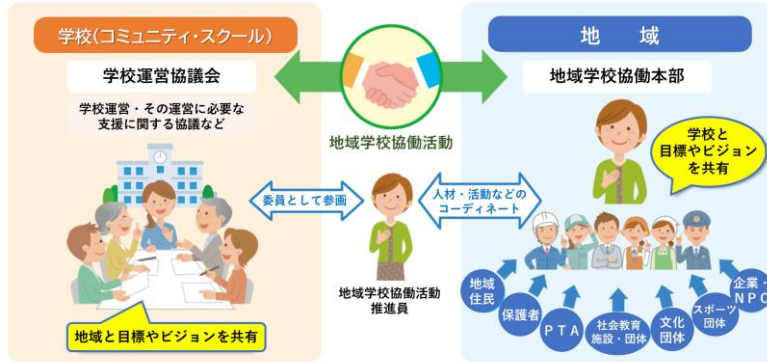
生涯学習係では地域や家庭の教育力向上や青少年の健全育成が図れるよう、地域・学校・家庭・行政が連携・協働した活動を推進していきます。

対象：吾妻地域全体

地域の教育力の活性化に向けた体制づくりや地域と学校の連携・協働の方策を学べます。

【地域と学校の連携・協働推進フォーラム】**対象：地域学校協働活動推進員等**

地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員に委嘱された方々が、具体的な運営方法を学んだり、資質向上を図ったりできます。

【地域学校協働活動推進員等研修会】**対象：協働活動支援員**

放課後子ども教室や放課後児童クラブ関係者が資質向上を図ったり、他の地域の事例などから研修したりすることができます。

【協働活動支援員等研修会】

文部科学省資料：これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

地域学校協働活動、コミュニティ・スクールについての説明や情報提供に社会教育主事をお役立てください。

- 園・校内研修のひとコマに
- 教育委員会の伴走支援に
- 各種地域の会合に など

対象：町村教育委員会事務局員

管内町村で行われている地域学校協働活動について実態を把握し情報交換や協議を行い、自分の町村における活動の課題について話し合います。

【地域と学校の連携・協働推進会議】

家庭教育支援の推進

毎日忙しくて、子どもと最近遊んでいない。

子どもが休みがち。誰に相談したら…？

つい叱ってしまう。上手なほめ方を知りたい。

子育て、家事、仕事。全部やらなきゃ…でも、疲れた。



社会教育主事を派遣いたします。
(昨年度実績は以下の通り)

- 子育て支援にかかる保護者向け学習会「ワクワク子育てトーク」
- 児童・生徒、保護者向けのメディアに関する講演
- 園・小学校での子ども向け体験活動の講師 など

対象：行政関係者

各町村が家庭教育支援体制を整備し、各団体等の連携した取組を推進するための提案や支援をします。

【家庭教育支援連携推進事業】**対象：家庭教育支援関係者・福祉部局関係者**

管内の家庭教育支援に係る関係者に、取組についての情報交換の場や支援体制整備等について話し合う場を設けます。

【家庭教育支援連携会議】

家庭教育支援チームのロゴマーク



家庭教育支援チーム



家庭教育支援チーム
についてはこちらから